

プロメトリン・ベンチオカーブ粒剤 サターンバアロ粒剤	取扱メーカー： クミカ、琉産 原体メーカー： シンジェンタ、クミカ
成分： プロメトリン〔トリアジン系〕……………0.80% ベンチオカーブ〔カーバメート系 PRTR・1種〕…8.0%	性状： 灰白色細粒 毒性： 普通物 消防法： ——

【品目特性】……………

- イネ科、カヤツリグサ科、ツユクサ科、タデ科、アカザ科、ナデシコ科などほとんどの畑地一年生雑草に対し、発生前処理で安定した防除効果を示す。
- 土壌吸着力が強く、土壌中の移動性が小さい。処理後降雨があっても効果が著しく低下することはない、残効期間は30～40日と長い。
- その他、サターン乳剤、ゲザガード50の項参照。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- 作物のは種覆土後できるだけ早く、雑草の発生前に処理する。
- は種後覆土はなるべく細かく砕いた土を用い、覆土深は2～3cmにして軽く鎮圧する。
- 土壌が極端に乾燥していると効果が劣るので、あらかじめ散水するなど土壌に適度な湿りけを持たせて散布する。
- 直播水稻の落水後全面土壌散布の場合は落水を完全に行った後散布する。

【薬効・薬害等の注意】……………

- つつじ・つばきに使用する場合は付近の作物にかからないよう注意して散布する。
- イネ科雑草に比べ広葉雑草には防除効果が不十分な場合があるので、広葉一年生雑草の優占する圃場では所定範囲内の多めの薬量で使用する。なお、タカサブロウに対する防除効果は期待できないので留意する。
- 直播水稻に使用する場合は下記に注意する。
 - 稲の根が露出した条件では薬害を生じるおそれがあるので使用をさける。
 - 落水後全面土壌散布の場合は落水を完全に行った後散布する。また、出芽直前に散布し帯水する場合は薬害の危険性があるので、降雨が予想される場合には、は種後早い時期に散布する。
 - 稲出芽前に入水を行うと薬害を生じるおそれがあるので、出芽前に入水はさける。
- 適用作物（全般）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

【安全対策上の注意】……………

- 共通注意事項6、街路・公園・堤とう等で使用する場合は注意事項を参照。
- 藻類に影響を及ぼすので、使用時は注意。
- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。

【適用と使用法】

作物名	適用雑草名	使用時期	10 a 当り 使用量	使用方法	本剤の 使用回数	フロメトリンを含む 農薬の総使用回数	ベンチオカーブを含む農 薬の総使用回数		
直播水稻	一年生雑草 マツバイ	は種直後～稲出芽前 (ノビエ発生始期まで) (入水15日前まで)	4～6 kg	乾田・落 水状態で 全面土壌 散布	1 回	1 回	2 回以内 (入水前は 1 回以内、 入水後は 1 回以内)		
小 麦	一年生雑草	は種後～出芽前 (雑草発生前)	3～6 kg	全面土 壌散布		2 回以内	1 回		
		生育初期 (小麦の4 葉期まで、 スズメノテッポウ1.5 葉期まで)	3～5 kg						
大 麦		は種後～出芽前 (雑草発生前)							
		生育初期 (大麦の4 葉期まで、 スズメノテッポウ1.5 葉期まで)							
とうもろこし		は種直後	4～6 kg					1 回	
だ い ず		は種後～出芽前 (雑草発生前)						2 回以内	
らっかせい		は種直後 (雑草発生前)							
にんじん		定植直後 (雑草発生始期まで)	4～5 kg					1 回	
たまねぎ ね ぎ		春期発芽前 又は夏切後 (雑草発生前)	5～6 kg			2 回 以内		2 回以内	2 回以内
桑		植付後 (雑草発生前)	4～6 kg			3 回 以内		3 回以内	3 回以内
つつじ類 つばき類									